

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和5年度 2月号

みんなでめざす、「ほっかいっぱいみさきっ子」

1月の学校だよりで、「御前崎小学校は、本当にほっかいっぱいの学校になっているのか？」ということをお話しました。このことについては、全校で共有し、各学級や一人一人の取組を見守ってきました。

すると最近、いろいろなところでちょっとした変化が感じられるようになってきました。

〈その1〉以前、私のところに「ほっかいっぱいの御前崎小」にするために、自分の思いを伝えにきてくれた子供たちが「最近、けんかやちょっとしたもめ事が少なくなった」「前より、みんなが仲良くできるようになった」ということを話にきてくれました。

〈その2〉6年2組、Rさんのほっかいっぱいふりかえり

2月13日に長縄がありました。1分間に85回飛ばなくてはいけなくて、みんな苦戦していました。その厳しさの中で、めげず、Mさん、Hさんは課題を克服していました。自分は苦手だからという思いで休んでしまいます。なのでMさんやHさんはすごいし、私も好き嫌いしている場合じゃあないなと、とてもよく分かりました。めげずに頑張っていたMさん、Hさんにほっかいっぱいしました。私も好き嫌いせず、全てにおいて全力で挑みたいなと思いました。

昼の放送の「ほっかいっぱい」の紹介でも、チャレンジすることの大切さや、苦手なことにも努力することの大切さを、友達や自分の姿を通して気づき価値づけている内容が増えました。

〈その3〉 毎週金曜日の昼の放送では、教職員も「ほっかいっぱい」の紹介をしています。

先生が見つけたほっかいっぱいは5年生全員のことで、5年生は、今6送会やウミガメ会議の準備でものすごく忙しい毎日を送っています。その中でも一人一人が自分にできることを見つけて、全力で頑張っています。不安や心配があるけれど、勇気を出して一歩をふみ出す人、休み時間を使ってまで人のために行動できる人、優しい声かけができる人など。(略)

全校のみなさん、この5年生は、かっこいい6年生になってくれることを楽しみにしてください。
〈5年担任〉

「ほっかいっぱい」という言葉は、御前崎小のシンボリックな合言葉になっています。来年度はその「ほっかいっぱい」を更にレベルアップして、「挑戦する心の強さ」「大変なことに諦めず努力する姿勢」「相手の気持ちになって行動する姿」をたくさん価値づけ、だれもがほっかいっぱいの御前崎小が大好き！と言える学校をめざしたいです。
(校長)